

秋田市の先人たち

ゲートボール創始者

鈴木栄治

(のち和伸と改名)

大正七(一九一八)年生

昭和五十八(一九八三)年没

太平字平形生まれ



主な事蹟

昭和二十二年、北海道の芽室(めむろ)町でパン工場を経営していたとき、クロツケーをヒントに子どもが手軽にできるスポーツとして考案したのが始まり。ルールは、近くの広場に子どもたちを集めて遊びながら、少しずつ工夫を加えて作った。その後、日本ゲートボール協会を設立するなど、競技の普及に尽力した。